

第 187 回 CERN 理事会メモ

2017 年 12 月 15 日 (金) 公開理事会 CERN 503-1-001 会議室

日本からの参加者：千々岩 (Geneva 代表部), 仁井田 (KEK), 花垣 (KEK),
アジェンダ：<https://indico.cern.ch/event/681590/>

日本はオブザーバーとして、公開理事会に参加した。初めに、Sijbrand de Jong 理事会議長より、日本などのオブザーバーの紹介があった。

項目 1 第 185 回理事会議事録の承認
承認された。

項目 2 制限および非公開理事会での決定事項

Sijbrand de Jong 理事会議長が、2017 年 6 月の公開理事会以降の理事会で決定された事項を報告した。

- カザフスタンとの国際協力協定が承認された。
- Sijbrand de Jong 理事会議長や、Keith Ellis 科学政策委員会委員長の再選を含め、幾つかの役職についての選挙結果を報告した。
- European Strategy に関する議論は 2018 年 9 月に正式に開始されることになった。公開シンポジウムを 2019 年 5 月に、原稿を執筆するセッションを 2020 年 1 月に開催することになった。

項目 3 財政委員会委員長からの報告

財政委員会委員長 O. Malmberg 氏が、財政状況に関する報告を行った。

- 各加盟国の支払額義務額に対して、12 月 13 日現在で 99.2%が支払われている。

項目 4 科学政策委員会委員長からの報告

科学政策委員会委員長 Keith Ellis 氏が、委員会での議論内容を報告した。

- メンバーの改選があり、Francois Le Diberder 氏, Teresa Rodrigo Anoro 氏, Yoichiro Suzuki 氏に代わり、Marie-Helene Schune 氏と Robert Cousins 氏がメンバーとなった。また、Ex Officio として ECFA 議長の Halina Abramowicz に代わり、Jorgen D'Hondt 氏がメンバーに加わった。
- 作業時の安全確保に関するレポートを紹介した。
- 物理に関する議論の纏めとして、陽子・陽子衝突断面積の測定、LHCb におけるレプトンユニバーサルリティの破れの兆候、将来のコライダー実験でのヒッグス測定について紹介した。

項目 5 若手研究者のキャリア構築に対する CERN の役割に関する報告

P. Giacomelli 氏が、若手研究者のキャリア構築に CERN がどのように役立っているかについてアンケート調査した結果を報告した。

- 高エネルギー物理業界に残っている、残っていないにかかわらず、多数が CERN の経験に満足している。
- アカデミックの世界を断念した理由の多くは、安定したポストを得られるか不安であったから、であった。

- 高エネルギー物理業界以外に就職先を求める場合、CERN はそれほど役に立っていない。

Fabiola Gianotti 所長から、CERN 同窓会を立ち上げた主な理由が、高エネルギー物理業界以外での職探しに CERN が役立つようになるためであるとのコメントがあった。

文責：花垣